

令和4年度 日置市教育委員会定例会(6月)

○日 時：令和4年6月21日(火) 午後1時30分～午後2時40分

○場 所：東市来支所 大会議室 (4階)

○出席者：奥教育長

委 員：内村委員・中島委員・胸元委員・鶴木委員

事務局：久木崎(事務局長兼教育総務課長)・中鉢(学校教育課長)

立和名(社会教育課長)・恒吉(東市来支所教育振興課長)

迫田(日吉支所教育振興課長)・山下(吹上支所教育振興課長)

宮前(教育総務課長補佐)・下小牧(社会教育課文化係主任)

1 開会

奥教育長：ただ今から日置市教育委員会6月の定例会を始めたいと思います。

2 前回議事録の承認

奥教育長：まず前回5月の議事録の承認をお願いしたいと思います。議事録はあらかじめお送りしておりますが、修正等はございませんでしたか。

鶴木委員：3カ所ほどありました。2ページ4行目の「学級編成」の「成」の字を「制度」の「制」に替えていただきたいです。それから4ページ中段「プラス思考のリーダーになるために」から数えて4行目真ん中付近、「不足の事態」の「足」は「測定」の「測」です。それから5ページ、1段落目の1番最後ですが、「承認されたということです」を「承認されました」としていただきたいです。お願いいたします。

奥教育長：はい。何か所か修正がありました。よろしいでしょうか。

宮前補佐：はい。

奥教育長：ではそのように修正をしてください。他にございませんか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(特になし)

それでは5月の議事録は承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

なお署名・押印は、内村委員と中島委員にお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長：それでは委員及び教育長の報告に移ります。中島委員からお願いいたします。

中島委員：それでは報告させていただきます。

前回の定例会以降の出席等についてです。前回5月度の定例会終了後に、令和4年度鹿児島地区教育委員会連絡協議会総会及び研修会が中央公民館でございました。コロナ禍で前年度は書面出席ということで、開催はされませんでした。今回は開催されました。総会の後、県教育庁高校教育課の荒田明彦、学校教育ICT推進監の方から「GIGAスクール構想による教育の質の向上」をテーマに講話がございました。GIGAスクール自体もICT等も各学校に配置が終わり、展開する時期にきていることも確認をとったところですが、なんにせよコロナ禍でリモート授業が走りということで、色々な所でこういった物を活用して、学校と学校との距離自体も、遠方との距離の近さを感じることができる内容だなと感じたところでした。

6月6日県教育事務所合同学校訪問で伊作田小学校を訪問させていただきました。職員構成は糸井校長以下13名、なお糸井校長他4名の先生方、5割にあたる方が本年度の移動で新たに伊作田小学校に来られた、という話がございました。児童数48名、3・4年生、5・6年生は複式、他に知的1クラス、病弱1クラス、情緒1クラス、の3クラスが特別支援で、全部で7つの学級で構成されているということです。「心豊かで 主体的に学び たくましく夢をはぐくむ 伊作田っ子の育成」を教育目標に、校訓「誇りを持って 力を持って 望みを持って」、児童総会の運営は児童の主体性を重視し「やればできる やればのびる みんなで頑張る伊作田小」の児童会スローガンも1年生も意見を出し合って、児童総会で決めたスローガンということで校長先生から話がありましたが、48名のたのもしさ、力強さを感じました。経営重点及び努力点としまして、タブレットを活用した授業の実践、授業ラスト10分の充

実といった「授業力の改善」、不登校未然防止及び学校支援の推進といった「いじめ積極的認知及び早期解決」の取組、「人権同和教育・小さな親切運動の推進」ということで、また、海・山に囲まれた自然豊かな立地でもあり、地域教育資源を積極的に活用した「ウミガメ放流、鯛・ヒラメの放流、漁船乗船体験、稲作体験」など、特色ある活動が取り組まれている内容でした。

学校経営説明後、授業を参観させていただきました。3・4年生の複式授業の算数の単元では、3年生10名は「たし算とひき算」、授業の単元目標として「10の位・100の位の繰り上げがある筆算ができるか」、めあてとして「繰り上げが2回ある計算の仕方はどのようにしたらいいか」、4年生においては5名の生徒に「分度器で角度の違いを工夫して測ることができるか」「分度器を使い測るには外側のメモリを読んだり、辺を伸ばしてはどうか」などといった学年の授業内容とは違う内容を児童に主体性を持たせ、2つの授業を展開していく担任の先生のすごさを感じました。5・6年生も算数の単元が行われていました。5年生8名は少数の掛け算、6年生6名は分数と分数の掛け算の単元でした。担任が外れている間、緊張感が緩むことなく、14名の児童が授業に真剣に取り組んでいる様子に日頃の先生の授業内容が見えたとともに、高学年である児童たち一人一人のたくましさを感じたところです。数年前、同校を訪問させていただき、1名の病弱支援学級の設置に驚きすらありましたが、今回授業を見させていただき、授業に臨んでいるその児童の姿に児童の成長の大きさと先生・学校・市教委の支援に改めて感謝の思いを感じたところです。

今回の訪問にあたり、自然豊かな環境下で立地の良さを感じた一方、津波被害等の災害避難先に距離があり、また横移動に避難をしなければならない難点があることを、以前提案もございましたが、今回学校裏の高台に避難経路を整備中だということで支援員の方から話を聞き、児童の安全に配慮され、動かれたことにも職員一同が「チーム伊作田」として一致団結し、学校運営に臨んでいる様子を実感できました。同校には何度か訪問させていただきましたが、校舎の正面入り口横に大きな石碑があります。その意味を知ることはありませんでした。歴史の足跡として建てられている石碑には、106年前、伊作田小の教諭であった木原先生、当

時は訓導ということで、「訓導とは戦争前の尋常小学校などの正規教員の職種の1つ」と書いてありましたが、終了式の後、22名の児童が近くの江口浜で海水浴を行った際、2名の児童がおぼれ、この木原先生が1名は救助したものの、残る1名の児童と共に命を落としてしまったという水難事故があり、この内容は県内をはじめ全国紙の新聞に掲載されたということです。生徒を思うその勇気と自然の怖さを忘れることのないように、今でもその思いは伝えられ、石碑に刻まれているということでした。今も伊作田小の職員の方々にもその思いは引き継がれていると思う今回の学校訪問でした。

なお5月25日、市教委学校訪問の永吉小学校は私用にて欠席させていただきました。以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございます。それでは続きまして、鵜木委員お願いいたします。

鵜木委員：はい、お願いいたします。地区教育委員会の連絡協議会総会研修会につきましては、ただ今、中島委員の方から報告がありましたので割愛させていただきます。

5月25日に永吉小学校を訪問させていただきました。このことにつきましては後ほど内村委員、胸元委員からも報告があるかと思えます。永吉小学校には2年前の創立150周年記念式典に参加して以来の訪問になりました。職員は50歳以上の8人を含む11人で構成され、新たに赴任してきた校長、教頭の下で学校経営がなされて2カ月が経過していました。児童数の減少傾向が続くようで、2年後は30人を割り込む見込みのようです。教育目標は「夢実現のために、共に学び、正しく判断し、心豊かにがんばりぬく子どもの育成」となっており、教育目標を実現するための重点及び努力点が8項目挙げられていました。

全校児童37人の1割にあたる4人の不登校児がいることが報告され、管理職・担任・養護教諭で役割分担をした対応をしているとのことでしたが、説明や頂いた資料から推測すると、いずれの事例も、保護者の養育姿勢や家庭における基本的な生活習慣の未確立に課題があるのではないかと思われました。また、特色ある教育活動においては、地域の特色を生かした「農作活動」や「伝統芸能の継承活動」「全校音楽」「一人一鉢運動」「日新公いろは歌かる

た取り」などが積極的に行われており、これらの活動に参加することによって、児童は地域に育まれているという意識の醸成と、自己有用感を形成していくのだと感じられました。学力に関する説明や資料等及び授業参観の状況から、永吉小学校の児童は学力向上の基盤が整っており、大きく伸びる可能性を秘めていると考えられるので、授業のなかで提示した「めあて」に沿って授業を展開するなかで、「見通し」のめあての工夫や、児童自らが調べたり深めたりする時間を十分に確保してやり、振り返りの過程で「分かった」「できた」を実感できるよう構築していくことで、大きな向上に結び付くのではないかと期待がもてました。「読み取る力」「文章にまとめる力」が弱いことから、基礎基本の徹底が必要だとのことでしたが、家庭学習と連携した取り組みが一層図られるとよいなと思いました。半日の学校訪問でしたが、小規模・複式校の強みを生かした取り組みが行われていることを確認することができました。

29日は伊集院小学校の運動会と妙円寺小学校の体育発表会を参観しました。雨が降り続いていたので開催が危ぶまれましたが、開会式の前には雨もあがり、伊集院小学校では2年ぶりの運動会開催だとのことでした。入場については「各家庭2人まで」と制限はあったものの、保護者を招いての開催は3年ぶりだったようです。全児童整列のもとで開会式が始まり、渦尾校長が「練習期間は1カ月しかなかったが、体育の時間や朝の時間を使って練習に励んだ」こと、「1年生には初めての運動会で精一杯走ってほしい。6年生には役目をしっかりと果たしてほしい」と語られました。プログラム1番は金管バンドによる「明日があるさ」と「ピクニック」の演奏が行われ、続いて紅白両組によるエール交換があり、3年生の短距離走から競技が開始されました。伊集院小学校では、団体種目の「ソーラン節」や「伊小っ子チェストおはら」などを含め、プログラム7番の5年生の短距離走までを参観して妙円寺小学校へ向かいました。

妙円寺小学校では、プログラム7番の1・2年生による団体種目から参観をしました。大会スローガンの「最後まで 勝利を目指し 輝く汗」のもとで、実施種目は学年種目と短距離走、リレーのみでしたが、今年は昨年のように学年ごとで保護者の入れ替

えをすることもなく、多くの保護者の姿が見られました。6年生の短距離走と全員リレーでは、ほとんどの児童が有名スポーツメーカーのシューズを履いて競技に参加していて、白色の通学靴を履いている児童は数えるほどしかいませんでした。教頭先生に尋ねると、規制はしていないということでした。妙円寺小学校で伝統として行われている高学年の「妙小ソーラン」は、例年着用する法被に自分たちで刺繍を入れるのですが、コロナ禍のためにできなかつたと聞きました。3本の大漁旗が登場しましたが、いずれも保護者からの寄贈だったそうです。踊った後、6年生は法被姿のままで、クラスごとに卒業アルバム用の記念写真を撮影していました。永山市長も来られ、共に最後まで参観させていただきました。以上でございます。

奥教育長：はい。ありがとうございました。それでは胸元委員、お願いいたします。

胸元委員：報告いたします。

5月25日、日置市教育委員会永吉小学校学校訪問がありました。生徒数が37名、P戸数が27世帯の小規模校です。教育目標を「夢の実現のために、共に学び、正しく判断し、心豊かにがんばりぬく子どもの育成」とし、経営の重点及び努力点の1番目に「いじめ、不登校、問題行動等の早期発見・早期対応」を設定されていました。今年度からいじめアンケートを毎月とるようにし、子ども達の状況を把握し、いじめの認知と情報共有に努めているとのことでした。安心して過ごせる学校生活環境が整ってこそ授業を聞くことができると思いますので、子ども達を取り巻く環境、状況の変化を敏感に察知し対応を続けてほしいと思います。

5月29日は伊作小学校大運動会を参観いたしました。早朝から降り出した雨に延期の心配もされましたが、予定どおりに決行されました。それまで激しく降っていた雨が開会式直前にやみ、その後も天候がやや回復し、競技内容の順番を変更しただけで全ての競技を終えることができました。今年の大会スローガンは「みんなが主役 心を一つに 笑顔かがやけ伊作っこ」です。今年度も1つの競技が終わるごとに手洗いうがいを行ったり、児童と参観者の接触がないよう校庭を仕切ったりと新型コロナウイルス感染症防止対策を取りながら実施されました。登校後、毎日表現の

練習をしていた子ども達でしたので、天候による表現の中止にならずにほっとしました。大会スローガンにある「心を一つに」して行う表現はとても良いものでした。

本日予定されていましたが、永吉小学校、花田小学校、和田小学校の合同田植え体験は天候不良のため延期となりました。以上です。

奥教育長：はい。ありがとうございました。それでは内村委員、お願いいたします。

内村委員：5月25日永吉小学校訪問につきましては、鶴木委員、胸元委員が述べられましたが、1点補足しますと、今現在児童数37名ですが、3年後の6年度には29名となる予定で、非常に厳しいということで、前回花田小学校を訪問した時に、学校・地域が非常に地区公民館と連携して、空き家を修復したり若い人を呼んだり、そういうことをして増やしておりましたので、ぜひ永吉小も学校と地域がさらに連携しながら、児童数の増加に取り組んでほしいと思いました。

6月5日開催予定の日吉地域の「お田植え祭り」「せっぺとべ」は3年連続中止になり、伝統芸能保存のためにも、ぜひ小中学生の踊り子の皆さんに、来年こそは開催でき、がんばる姿を見せてほしいと思っております。また当日、午前10時から鬼丸神社、11時から八幡神社において、関係者の出席のもと、神事のみが執り行われました。

6月9日いじゅういん梅マラソンジョギング大会実行委員会総会は所用で欠席しましたが、会議内容は以下のとおりです。令和4年度以降の開催方法は、これまでの大会内容を大きく変更し、今年3月21日に開催した「みんなのYUMEタイムトライアル」方式で開催するという事です。開催日は例年どおり12月11日開催、募集人員は最大500人としています。1km特設コースとトラックのみを使用するため、警備やスタッフの人数を大幅に縮減できるということです。これまで38年の歴史を重ねてきた梅マラソンは終了となります。

6月20日は鹿児島教育事務所・日置市教育委員会合同で日吉学園を訪問し、前期課程9学級165人、後期課程4学級81人の授業参観をしました。まず児童生徒の皆さんが、語先後礼の習慣で一人

一人笑顔の挨拶で迎えてくれて、爽やかでとても嬉しかったです。開校2年目を迎え、新しい綺麗な教室の環境のもとで児童生徒の皆さんが、生き生きと集中して授業に取り組んでいる様子を見ることができました。特に4学級の特別支援学級では、経験豊富な先生方が一人一人に寄り添って丁寧に粘り強く指導されて、子ども達も楽しそうに授業を受けていました。義務教育学校の特性を生かした9年間を見通した連続性の教育、相互乗り入れ授業や、異年齢交流のなかで、多様な児童生徒の触れ合いなどで「知・徳・体」の調和のとれた教育に、学校・家庭・地域と連携して取り組んでいる日吉学園でした。

5月20日地区教育委員会総会と永吉小学校もですが、それぞれの先生方が発表されましたので、私からは割愛いたします。以上でございます。

奥教育長：はい。ありがとうございました。それでは私の方から報告をさせていただきます。5月に2週間ほど休みましたので、前回の定例会も欠席をさせていただきました。すみませんでした。また内村委員には職務代理者としてスムーズに進行をしていただいた様子が議事録のなかに書かれておりました。ありがとうございました。そういう関係で4月以降の代表的なものだけ、私からは報告をいたします。

今日この後、報告がありますけれども4月27日に吹上歴史民俗資料館に所蔵してある一字治城跡から出土した遺跡の研究の記者発表が行われまして、社会教育課の下小牧潤文化係主任が記者発表をいたしました。その様子は後ほどご報告をさせていただくことになっておりますので、お願いいたします。

それから5月2日に指定管理者候補者選定委員会が行われまして、教育委員会関係では社会体育施設を一括して指定管理に、という方向で進んでおります。35施設を選定して指定管理するわけですが、すでに募集が始まっております。途中経過等は報告できるものがございましたら、定例会のなかでも報告をさせていただきたいと思っております。

5月25日（水）には日置市PTA連絡協議会の総会がございまして、出席をいたしました。長年PTA会長としてご活躍をいただいた3名の方の表彰、それから県のPTA広報誌コンクールに

応募をして優秀賞となりました土橋中のPTA新聞の表彰が行われました。そのなかで、8年間市P連の会長を務められた草野勝徳さんが今回退かれるということでございました。草野会長におかれましては先日開催された県のPTA連合会の定期総会において表彰を受けたと伺っております。なお、新会長には元山寿哉さんがなられたようでございます。

最後です。5月31日には、来年本県で開催されます第47回全国高校総合文化祭の実行委員会に出席いたしまして、今後の計画等について話し合いがなされましたが、来年8月に本市におきましても文化会館において日本音楽の部の発表がございしますので、楽しみに待ちたいと思います。総合高等学校の総合文化祭というのは、高校総体の文化版、文化の甲子園と言われるもので、各県の代表が全て出てまいりますので、かなり質の高い発表会になるのではないかと思うところです。

その他もたくさん行事がございましたけれども、欠席が非常にたくさんございました。健康管理には気を付けなければいけないと、つくづく思い知らされたところでございますので、よろしくお願いいたします。以上で教育委員の皆さんと私の報告を終了とさせていただきます。

4 行政報告

【一宇治城跡出土資料について（社会教育課）】

奥教育長：それでは議事の前に、先程申し上げましたように行政報告ということで、一宇治城跡出土資料についての報告を、社会教育課の下小牧潤主任から頂きたいと思っております。よろしく申し上げます。後方のスクリーンをご覧ください。見にくい方はどうぞ移動されてください。

下小牧主任：よろしく申し上げます。お手元に資料が2つございます。ホッチキス止めをしてある方が、以前記者発表を行いまして、その際に記者の方々にお配りしたものです。それから、翌日以降に記者の方々を書いていただいた新聞記事のコピーをお渡ししております。座って失礼いたします。

「国内初か一龍の象嵌をもつ粉青沙器を発見！」ということで、韓国国宝との比較により判明しました島津ゆかりの一宇治城跡か

ら出土した物について、ご紹介いたします。出土資料がこちらの2点になります。明らかになった点は、龍を描いていて、かつ朝鮮半島の物である、そして500年前の物である、こうした物が一字治城跡から出土していました。こちらについて今からお話をしていきます。

発見の経緯としましては、1990年に一字治城跡の発掘調査で外国製の陶磁器が出土しております。青磁白磁など、色々な物が出土しております。この後、1991年に報告書が刊行されております。この際には今ご紹介しました2点の資料で、評価が定まっておりますませんでした。外国産の陶磁器であるということは判明していましたが、「それがいったい何であるか」「どのような意義を持っているか」というところについては言及されておりました。その後、1994年、亀井明德先生、当時の専修館大学の教授により、資料の再整理が行われております。そこでこちらの2点の資料が李朝当時、朝鮮産の陶磁器だと紹介されておりました。ここで初めてこちらの2点の資料が朝鮮産の青磁だと評価されております。時が30年ほど経ちまして、2021年、昨年、島津貴久、島津家15代当主島津貴久公の没後450年を記念し、日置市吹上歴史民俗資料館の方で、『「島津の英主」貴久と日置の城館』という企画展を計画しました。その際、資料を整理しているときに気付きを得まして、類似の資料を見ていくなかで、韓国国宝資料との類似を確認した、ということになります。その後、2022年3月に日本情報考古学会、学会誌の方で論文を投稿しまして、それが3月に刊行され、これが「全国的に見て非常に稀有だ」と言いますか、今のところ「国内で初の発見」と、未だに他の市町村の方から「うちでも出ています」という声は聞いておらず、むしろ「よく見つけましたね」という話を聞きます。「稀有だ」としてはいますが、こちらは記者向けの資料でしたので、なるべく嘘はつかない方向で、話をしておりました。未だに「全国初」という資料になります。

一字治城を巡る歴史としまして、鎌倉期以降、紀氏系伊集院らによって使われております。その後14世紀15世紀は非常に海外貿易が盛んな地域となっております。このお城でも実際に朝鮮産の物ですとか中国の南の方で焼かれた陶磁器などがかなり多く出ております。戦国期になりますと、島津実久、薩州家方の島津実

久が統治していましたが、相州家の島津忠良、島津本家15代当主になります島津貴久らによって落城され、その後数年間島津貴久がこちらに居城をしていました。島津義久、義弘、島津四兄弟らの2人も幼少期を過ごしていたということで、島津貴久と、かのフランシスコザビエルが会見したと一説には伝わる場所でもございます。

出土した場所ですが、黄色で囲っている釣瓶城という所になります。一字治城全体の中に多くの陣がありまして、その中の1つに釣瓶城という所がありますが、こちらの調査で出土しております。こちらの白い線が5m×5mで設置したトレンチ（調査する範囲）ですが、こちらを調査して掘り下げていくと丸いしみのようなものが見え、そこを4.5mほど発掘していくと実際に物が出てきたということで、1点目がこちらになります。こちらの上の方は、3D計測を行いまして、左のぼこぼこしているものが内面になります。右側が外側のものになります。模様が、右下の方を見ていただくと分かりますが、赤い部分が真っ白の装飾が施されているところ、緑、黒の模様があることが分るかと思えます。こちらは3Dデータで見ていただければと思えます。これは大きく映っていますが、実際のサイズは4cmないし5cmくらいのもので、裏面が非常にぼこぼこしていて、おそらく火災かなにかで焼けたのか、内面が剥落している様子が見てとれるかと思えます。外面は非常にきれいに残っていて、こういう模様が描いてあります。もう1点はこちらになります。こちらの方に龍の鱗の模様が描いてあり、やはり先程の個体と同じく内側がぼこぼこになっていることが分かるかと思えます。こちらも大きさは4cmないし5cmくらいの小さな物ですが、おそらく先程の資料と同じ1つの壺の部品であると判断されます。

先程の陶磁器2点の断面をデジタルマイクロスコープで撮影しました。そうすると矢印の上の方に書いてありますが、こちらの白い部分が素地（元々焼き物を焼くための素体となる部分）で、上に見える緑色が釉薬になります。その中に黒や白の象嵌と呼ばれる壺を作り、その上にナイフ状の尖ったもので模様を描いていて、その中に黒や白の模様を描き込んで、少し削って上から釉薬をかけ、ミルフィーユ状の模様が描かれているので、そうすると

先程の模様がデザインされるのですが、それを断面で見るとこういうふうに白や黒の模様が見えてくる。これは間違いなく朝鮮産のいわゆる粉青沙器、象嵌技法を伴う青磁だということで、そういう技法の1つになります。これが大きな根拠です。3次元計測で、曲率を測って反転復元すると、だいたい20cmの小さなものではなく大きな壺とか瓶だということが判明しております。

先程タイトルでご紹介しましたとおり「韓国国宝との比較により判明」ということで銘打っていましたが、こちらが類似していた資料、かなり似ている物になります。粉青沙器象嵌印花雲龍文壺、今は韓国国宝ということで韓国国立中央博物館に所蔵されております。これについて崔淳雨さんは、「高麗時代の古刹（古いお寺）、慶尚北道安東市の鳳停寺に伝来していた稀にみる珍品である。

（中略）胴部の象嵌龍文は15世紀粉青沙器梅瓶（梅瓶とは当時の壺型のもの）などにその例が多い。壺底は平底に仕上げているが、高台回りだけ残して大きな丸い穴が開いて底が抜けている。このような底抜けの壺は、骨壺に多い内壺を入れるための穴であるとの推測が可能である。」と記されています。実際、この機能は壺以外の何かであると判断されるかと思います。粉青沙器の壺は、国内に美術品はあります。国外にもボストン美術館などに龍を描く粉青沙器は存在しますが、この「国内初」というのは「遺跡から出てきたこと」と、「韓国国宝と1番これがよく似ていること」で、この2点でかなりすごい物だということが言えるかと思います。

右の赤で囲っている部分が一字治城跡の資料になりますが、韓国国宝の資料ですと、このように想定されます。資料の区切りが2つあって、その模様が下にあります。上には象嵌技法で描かれている鱗状のものがあり、非常によく似ていると。この壺は一對の龍が描かれており、裏面にももう一体いますが、そちらがこれになります。反対側の模様にもこういったものが描かれているということで、これであることは間違いはないかと思います。

記者発表をする際、色々な専門の方々に所見をいただいております。少しご紹介いたします。朝鮮王朝では「龍は国王の象徴」だと、朝鮮史の先生から所見を頂きまして、「何で日本の遺跡から出てくるのかわからないが、すごいですね」ということを言われております。龍をデザインした破片である蓋然性は高く、南九州

はもちろん国内でも今のところは初ということで、貴重な出土です。国内で出土した龍を描く粉青沙器はこれが初めての出土になる可能性が高く、九州大学名誉教授の西谷正先生、この方は東アジア考古学を代表する権威ある先生ですが、この先生によれば「遺跡から出る例を粉青沙器については見たことがない」と絶賛されましたので、今のところ、「国内初」と言っているのではないかと思います。

鳳停寺について。韓国国宝資料ということで、一字治城跡とかなり距離がありますが、ここを500年前に貿易がどういう過程で流入したのか分かりませんが、貴重品が朝鮮から海を渡って入ってきたという点で歴史の一端が明らかになってきたことになります。鳳停寺は2018年に「山寺、韓国の山地僧院」として世界遺産に登録されており、非常に由緒ある鳳停寺から伝来していた物とよく似ていたということは、今後さらに歴史的な意味も含めて一字治城跡を色々検討していく必要があるな、と思っております。実は今ご紹介しました粉青沙器以外にも、こちら天目碗ですが、「なんでも鑑定団」などで見かける数百万円するような物が、ここに映っているだけで少なくとも3個体は出ておりますし、他にも白磁の梅瓶、渦巻きを描く梅瓶ですが、こちらもかなりの有力者の居館や、お城跡でしか出土しない物で、非常に貴重な物です。こういった物も出ておりますので、「一字治城跡、かなり見逃せないな」「今後発掘調査などできれば、すごくおもしろい所になってくるかな」と思っております。

最後に、一字治城跡、釣瓶城がどういう所かをご紹介したいと思います。これが一字治城跡の釣瓶城という所になります。一字治城跡は行かれたことがある方がほとんどだと思いますが、階段があって突き当りを左に曲がって、そこから道なりに行くと、今見えている位置に来ます。3Dモデルで実際に釣瓶城後をご案内しようということで、お見せしているところです。ここが井戸跡ということになりますが、ここは完掘していません。さらに、実は全面の調査はしておりません。まだ龍を描く文様の個体の破片が眠っている可能性もあります。このような場所を調査しておりました。以上になります。簡単にではございますが、お付き合いいただきましてありがとうございました。

奥教育長：はい。ありがとうございました。大変興味あるご報告を頂きましたけれども、何か質問はありませんか。専門的すぎますけれども、これが実際、吹上の歴史民俗資料館にあるわけですね。

下小牧主任：はい。展示をしてあります。

奥教育長：はい。展示をしてありますし、必要であれば下小牧さんが説明もしてくださると。

下小牧主任：はい。あらかじめ予約を頂ければ。

奥教育長：はい。ということでございますので、今後ぜひご覧になっていただきたいと思います。では下小牧さん、ありがとうございました。

5 議事

【報告第13号 令和4年度日置市一般会計補正予算（第3号）の市長への意見具申について】

奥教育長：議事に移りたいと思います。今日は報告が2件ございます。まず、報告第13号 令和4年度日置市一般会計補正予算（第3号）の市長への意見具申について、説明をお願いいたします。はい、久木崎事務局長。

久木崎局長：それでは、報告第13号 令和4年度日置市一般会計補正予算（第3号）の市長への意見具申について、説明いたします。令和4年度日置市一般会計補正予算（第3号）について意見を求められ、別紙のとおり回答し臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定によりこれを報告するものでございます。

令和4年度日置市一般会計補正予算（第3号）につきまして、まずは総額について説明いたします。資料の7ページをお開きください。今回の補正予算は人事異動に伴うものや、人事院勧告に準ずるものの人件費の補正が主でございます。教育費で3,699万9,000円を計上するものでございます。人件費以外には教育総務課関係で地方創生臨時交付金を活用したトイレの洋式化、音楽室等への空調機購入等の予算を計上しております。社会教育課関係では、中央公民館の防火設備に係る施設維持修繕料等を計上しております。

それではまず、教育総務課関係について説明をさせていただきます。資料は、令和4年度6月補正予算（案）説明資料をご覧ください

だきたいと思います。歳出から説明をさせていただきます。

4 ページをお開きください。今回の計上分で人件費につきましては、人事異動によるものですので、各費目において、報酬・給料・職員手当等・共済費に係る分については、説明を省略させていただきます。人事異動以外で4 ページ中段に事務局費が記載してございます。10款01項02目事務局費 01節報酬でございます。これは任期満了等による外国語指導助手交代による補正で、1万4,000円計上してございます。

6 ページをお開きください。08節旅費 費用弁償は外国語指導助手交代に係る帰国旅費及び赴任旅費 34万1,000円を計上するものです。10節需用費 施設維持修繕料は、地方創生臨時交付金を活用し、ふれあい教室の男子トイレ洋式化の改修費 50万円を計上するものでございます。次に、02項01目学校管理費 10節需用費 施設維持修繕料は、小学校維持補修費で土橋小学校職員トイレの洋式化の改修費用 49万5,000円を計上するものです。

7 ページです。12節委託料 その他委託料は、小学校音楽室に空調機を設置するため、各小学校の電源能力等の調査業務について、60万円を計上するものです。14節工事請負費 補助事業につきましては、これも地方創生臨時交付金を活用して、湯田小学校、飯牟礼小学校へ扇風機設置工事 79万5,000円を計上しました。これは2校ともに理科室への設置で2教室8基を設置する計画でございます。17節備品購入費 1件100万円以上のものにつきましては、小学校の音楽室への空調機購入、12校分 2,589万5,000円を計上するものでございます。次に、03目学校建設費 11節役務費手数料は伊集院小学校の校舎建築にあたり校舎の構造計算適合性判定を行う必要があるため 17万5,000円を計上するものでございます。

8 ページをお開きください。03項01目学校管理費 その他委託料、これは中学校の音楽室の空調機設置に係る電源調査業務 35万円を計上しております。14節工事請負費 補助事業は、吹上中学校の技術室の扇風機設置工事 39万8,000円を計上いたしました。17節備品購入費 1件100万円以上のものにつきましては、中学校音楽室等への空調機購入5校分 1,655万3,000円を計上するものでございます。これは中学校の音楽室5校12基と、吹上中学

校のパソコン室2基を設置するものでございます。

次に歳入でございます。2ページをお開きください。17款01項01目財産貸付収入 01節土地建物貸付収入 教職員住宅貸付収入は、建物の老朽化等によりまして入居していない市教職員住宅や用途廃止等に伴いまして 71万9,000円を減額するものでございます。次に3ページ、21款04項04目雑入 雇用保険料は、教育総務、給食センター分の保険料変更に伴う補正を行うものです。以上で教育総務課分を終わります。

奥教育長：はい。続いて社会教育課、お願いいたします。

立和名課長：はい。社会教育課分を説明させていただきます。教育総務課でもありましたように、職員の異動、それから会計年度職員の控除の関係など、人件費については省略をさせていただきます。人件費を除くと社会教育課関係は1件になります。同じく予算説明資料の10ページ下段から11ページになります。10款05項02目公民館費 10節需用費でございます。その中の、施設維持修繕料でございます。日置市中央公民館の防火設備の修繕に伴う 89万3,000円の増額と、現在学校教育課で市内の各学校と繋いで事務連絡や各報告などに使っているシースマイルというシステムを導入しておりますが、これを社会教育課にも繋ぐための配線延長工事に係る費用 6万2,000円の増額で、合計95万5,000円の増額計上をいたしております。

歳入につきましては、2ページにありますが、会計年度任用職員の雇用保険料の個人負担分でございますので、省略させていただきます。以上でございます。

奥教育長：はい。ありがとうございました。今2つの課から説明がございました。委員の方々からご質問を受けたいと思います。

はい、内村委員。

内村委員：6ページ、ふれあい教室の男子トイレですが、女子トイレは現状どうなっていますか。

奥教育長：はい、久木崎局長。

久木崎局長：女子トイレは洋式化が済んでおります。

内村委員：分かりました。ありがとうございます。

奥教育長：はい。他にございませんか。

(特になし)

よろしいですか。それではただ今の報告第13号につきましては、承認していただけますか。

(異議なし)

それでは承認されました。

【報告 第13号 承認】

【報告第14号 日置市社会教育委員の任命について】

奥教育長：続きまして、報告第14号 日置市社会教育委員の任命について説明をお願いいたします。はい、立和名社会教育課長。

立和名課長：報告第14号 日置市社会教育委員の任命について、でございます。日置市社会教育委員について、別紙のとおり任命し、臨時に代理したので、日置市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第2項の規定により報告するものでございます。

先程、新しく日置市社会教育委員の名簿をお配りしましたが、そちらをご覧いただきたいと思います。今回、交代になられた方は、5番の社会教育関係者のところでございます。役職は市PTA連絡協議会長ということで、先程、教育長の報告の中にもありましたように、5月25日の市のPTA総会で、会長が交代となりました。新たに元山寿哉さんが選出されましたので、この方が交代となります。元山委員の任期は令和4年9月25日～令和5年7月31日までとなります。以上でございます。

奥教育長：はい。ただ今説明があつたとおりでございます。職が変わったために人が交代したという件でございます。特にございませんね。

(特になし)

報告第14号は承認されました。今日の議事は以上でございます。

【報告 第14号 承認】

6 その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長
- (3) 社会教育課長
- (4) 各支所教育振興課長

イ 日吉支所教育振興課長


ウ 吹上支所教育振興課長

(5) その他

6 閉会

奥教育長：以上で日置市教育委員会定例会6月の会を終了します。お疲れ様でした。

終了

署名委員 胸元 直美 

署名委員 榑木 親志 